

京都大学複合原子力科学研究所
防災訓練における訓練課題対応資料

1. 訓練で抽出された問題点・課題に対する原因分析と対策

あるべき姿	抽出された問題点・課題	原因分析の結果	原因分析結果を踏まえた対策
重要情報は積極的かつ正確にERCプラント班へ情報提供する。	ERCプラント班への重要情報の積極的、正確な情報提供ができなかった。	重要情報に該当する項目の整理ができていない。 ERC対応者への教育・訓練の不足。 情報整理担当者の情報の正確さに対する意識が不足していた。	重要情報について整理し、ERC対応者マニュアルを改善し、ERC対応者への教育・訓練を行う。 情報整理担当者への教育・訓練を行う。
図面を活用したERCプラント班への情報提供を行う。	ERCプラント班への図面を用いた説明が不十分であり、図面のFAX送信ができなかった。	説明に必要な図面が事象ごとに整理されていない。 ERC対応者に対して、説明資料をFAXにて送信するような教育を積極的に行っていなかった。	説明に用いる図面内容を再検討し、充実をはかる。 ERC対応者に対して、FAX送信による情報提供について教育・訓練を行う。
緊急対策本部で事故の現状、進展予測、収束対応戦略の状況を整理し、情報提供する。	事故の現状、進展予測、収束対応戦略の状況整理と情報提供ができなかった。	COP-3「事故の現状、進展予測、収束対応戦略の状況整理シート」が使いにくい。	想定される進展予測、対策等を事象ごとに整理し、COP-3「事故の現状、進展予測、収束対応戦略の状況整理シート」を改善し、適時にERCプラント班へFAX送信するようマニュアルを修正し、情報整理担当者への教育・訓練を行う。
適切なツールを用いて所内の情報共有を行う。	テレビ会議を用いた所内の情報共有が不十分であった。	テレビ会議のみでの情報共有には限界がある。 テレビ会議を利用する際の練度不足。	テレビ会議のみではなく、ネットワークを用いた情報共有ツールの利用を検討し、教育・訓練を行う。
収集した情報を整理し、ホワイトボードに記録する。	ホワイトボードへの記録が整理されていなかった。	ホワイトボードへの記録を行う際の整理の手順が明確になっていない。	ホワイトボードに記載欄を設けるなど、情報の記録・整理の手順を検討し、新たにマニュアルを整備し、教育・訓練を行う。

<p>FAX 通報文に適切でわかりやすい記載を行う。</p>	<p>FAX 通報文に適切でなかったり、わかりにくかったりする記載があった。</p>	<p>記載方法が定型化されていない。 FAX 通報文作成用の PC のテンプレートが更新されていなかった。 25 条通報の別紙にある「事故発生時」が示す事項が不明確であった。 ホワイトボードの記載が整理されておらず、誤った情報を記載した。 FAX 通報文のチェック体制が不十分であった。</p>	<p>FAX 通報文への記載方法の一部は定型化し、FAX 通報文を作成する担当者への教育・訓練を行う。 FAX 通報文作成用の PC のテンプレートが最新版になっていることを定期的に確認する手順を策定する。 25 条通報様式の別紙の記載を見直し、次回の防災業務計画の見直し時に反映させ、教育を行う。 ホワイトボードに記載欄を設けるなど、情報の記録・整理の手順を検討し、新たにマニュアルを整備し、教育・訓練を行う。 FAX 通報文のチェック体制を見直し、体制強化を行う。</p>
<p>緊急時モニタリングの結果を整理し、情報の共有と提供を行う。</p>	<p>緊急時モニタリングに関する情報提供が不十分であった。</p>	<p>緊対本部での緊急時モニタリング結果や大気安定度の整理ができていなかった。 緊急時モニタリングの重要性に対する担当者と緊対本部全体での認識と教育が不十分であった。</p>	<p>緊急時モニタリングの結果が整理できるように、ホワイトボードに記載欄を設けるなど、情報の記録・整理の手順を検討し、新たにマニュアルとして整備し、教育・訓練を行う。 緊急時モニタリングの担当者の教育・訓練を行う。</p>
<p>EAL に明確な判断基準が設定されている。</p>	<p>EAL51 への該当・非該当の明確な判断ができなかった。</p>	<p>EAL(51)の判断基準として線量に関する明確な基準が定められていない。</p>	<p>EAL51 およびその他の EAL に関しても、線量の基準が明確になるよう検討し、次回の防災業務計画の見直し時に反映させ、教育を行う。</p>

2. 情報フローに対する自己評価結果

別紙「情報フローに対する自己評価結果」のとおり。